手作り縄文土器紹介

西濃信金真正支店 船来山古墳の会が作品展



会員が制作した縄文土器の展示会＝本巣市政田、西濃信用金庫真正支店

本巣市と岐阜市にまたがる船来山古墳群の学習を目的とした住民グループ「船来山古墳の会」が、会員が作った「縄文土器」の展示会を本巣市政田、西濃信用金庫真正支店で開いている。26日まで。

古墳の会は2009年に結成され、同市と近隣市町の約70人が参加している。船来山古墳群をはじめ県内外の古墳の見学や出土品の学習会などを通して理解を深めている。

会員のうち約20人でつくる縄文土器クラブが5年前から縄文土器を制作しており、作品展を初めて開いた。

各地から出土した縄文土器を参考に作った深鉢や土偶などの44点のほか、ガラス玉など10点も展示。会員が土器を焼く野焼きまでの全ての過程に関わっているという。土器の表面には特徴の縄文がきれいに表れている。

堀部満会長(75)＝同市仏生寺＝は「全国有数の規模を誇る船来山古墳群を皆さんに知ってほしい」と話している。

時間は午前9時～午後5時。土、日曜日、祝日は休み。

(松田尚康)

無断複製・転載を禁じます